

平成 24 年度事業報告書 こころのバリアフリー研究会

【普及啓発事業、国際交流事業】

平成 24 年度は、普及啓発事業、国際交流事業として、公益財団法人精神・神経科学振興財団と共催で、第 6 回世界精神医学会アンチスティグマ分科会国際会議を開催した。

国際会議のプログラムは、記念講演3題、基調講演 2 題、特別講演1題、シンポジウム33 題、ランチョンセミナー10題、ポスター発表32題と発表の数が多く、また内容も非常に広範囲にわたる充実したものであった。参加者は592名で、海外からは19ヶ国、72名の参加があった。国内からは非専門（当事者、家族、学生、一般参加者など）212名、医師以外の専門家136名、医師148名という参加であり、大会計画時の、参加者見積もり300～350名に倍する参加があった。

【精神疾患患者のシリアスな身体的治療への説明同意手順・診療援助ガイドライン】

精神疾患のために、説明同意への理解、診療への協力に問題が生じる可能性がある場合、シリアスな身体的治療を行う際に、どのような手順をとり、どのような支援を行うべきかについてガイドライン素案を作成するための、文献調査を行った。この文献調査の結果は、平成 25 年 5 月に開催される、第 109 回日本精神神経学会総会で発表される予定である。

【若手精神科医へのこころのバリアフリー研修】

平成 25 年 2 月 16 日に、日本若手精神科医の会と共催で、こころのバリアフリー研修を開催した。

【一般財団法人登記】

平成 25 年 2 月 7 日をもって、こころのバリアフリー研究会は、一般財団法人として登記された。